



俘気女復讐サービス

学園形監獄アルカトラズ

記録No.03童顔彼女・妃芽

復讐したい浮気女はいますか？

学園型監獄アルカトラズ

そこに送られた女は徹底的に凌辱調教され、従順になるという
料金は無料

面会可能

女の様子は毎日動画で報告

申し込みは書類一枚

そう言って目の前の胡散臭い男は薄っぺらな紙を一枚差し出した。

しかし僕は躊躇する。

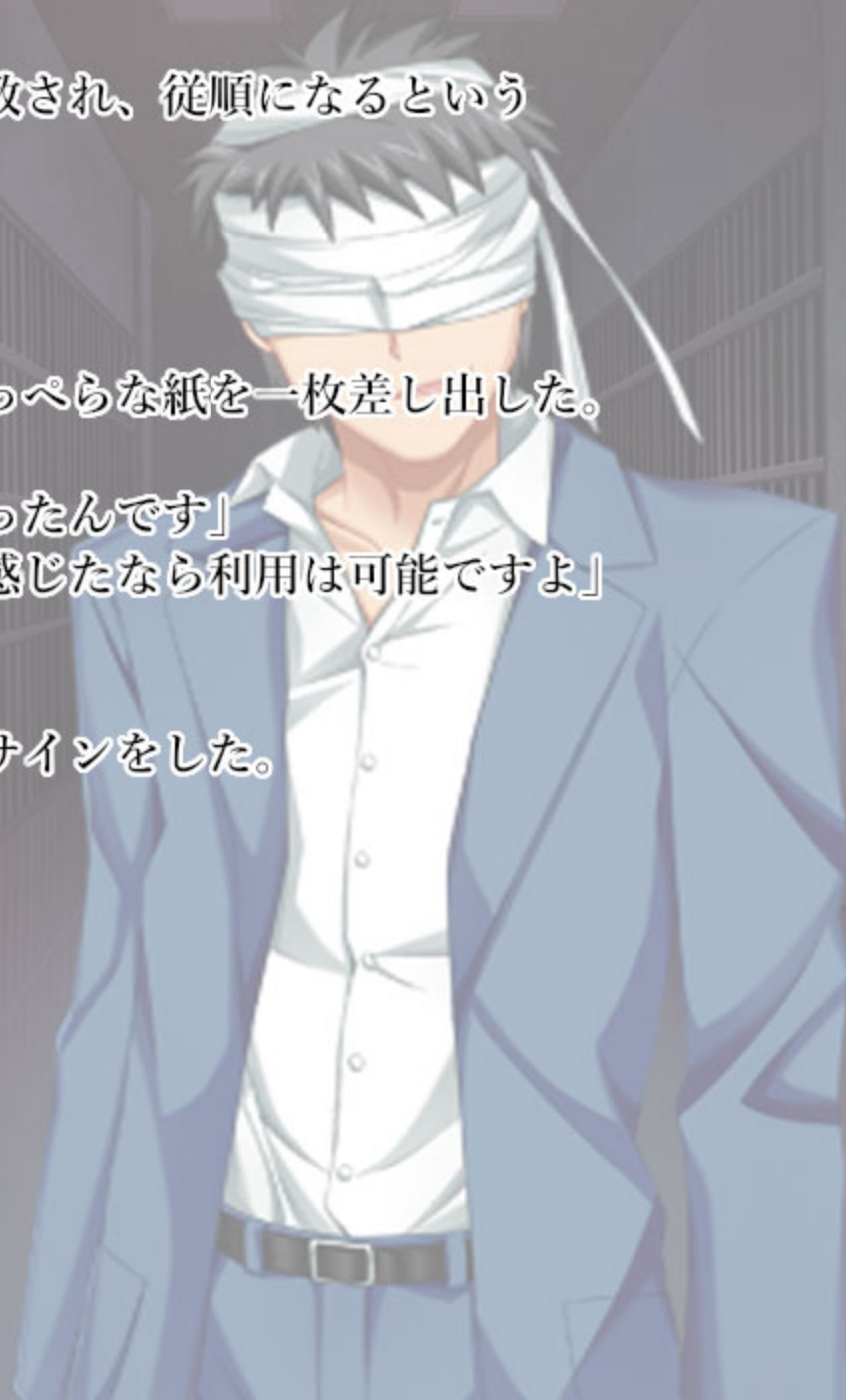
「でも、僕は彼女と付き合えてなかったんです」

「それでも貴方の心が浮気されたと感じたなら利用は可能ですよ」

笑いながら紙を押し付ける男性

「それなら僕は浮気をされました」

涙がにじむのを感じながら僕は紙にサインをした。



「望むとおりにして差し上げますよ」
男は紙を懐に仕舞い笑った。





記録No.03

ナツキ ヒメ

名前：菜月 妃芽

B83/W58/H80

依頼者の所属しているオタク系サークル唯一の女性メンバー。趣味でコスプレをしているという彼女は幼く可愛らしい顔立ちと抜群のスタイルでメンバー全員がすぐ夢中になった。好意を寄せていたも思うだけ無駄だと思っていた依頼者だったが妃芽の方からアプローチをされる。始めて出来た彼女に喜んで欲しくて妃芽が欲しがった物はすべて買い与え甘やかしてきた。そのためには無理なバイトもしたというしかし付き合っていたと思っていたのは依頼者だけである日、妃芽が別のサークルメンバーと二人で歩いているのを目撃してしまう。また別の日にも別のメンバーと二人で歩いているのを目撃。妃芽に問いただすと「何言ってるかわからないよ…それよりヒメ欲しいものがあって」と、とぼけだした。その瞬間自分がただのATMであった事に気付いた依頼者はサービスの利用を決意した。

●月●日—1日目（拉致当日）

「こんなところ嫌！ヒメが何をしたの！家に帰して！！」

菜月妃芽は大声で泣きわめいた。

「お前が男たちを弄んだからだろうが」

檻の向こうからスタッフが怒鳴るが逆効果だったようで余計に大声で泣きだしてしまう。

施設に到着してから妃芽はずっと泣き続けていた。

いい加減その泣き声が癪に障って仕方がない。

今日は何も行わない予定だったのだが檻を開き中に入ると無理やり妃芽をベッドに押し倒しズボンをはぎ取った





「やめてっ！怖いよっ！近づかないで！」

恐怖から激しく暴れる妃芽の腕を掴み頭の上でベッドに縛り付ける。

それを外そうと一生懸命になっている間にズボンとパンツを脱がせてしまう。

幼い顔立ちに似合いの子供っぽいパンツの下にはぷっくりとした大陰唇の綺麗なマ○コが隠されていた
経験も浅そうなそのマ○コに息を吹きかける。

「ひゃうっ」

普段人前に露出しない場所を感じる風に妃芽は声を上げて尻を震わせた。

綺麗なマ○コ
してるじゃないか

男を弄ぶのに
こっちはあんまり
使わなかったみたいだな

やめて……っ
見ないで……っ！

弄ぶなんて
そんなことヒメ
してない！

んんん
んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

お前は弄んだ気が
無くても傷ついた奴が
いるんだよ！

救いようがないな
これは自分が悪い女だと
自覚できるように
たっぷり教育してやらなきゃな

きょういく……？
な、何をするの……？

アッ
ッ

アッ
ッ

アッ
ッ

アッ



あーあーあー

んんんん

んんんん

んんんん

んんんん

こうするんだよ！

ズズズズ

んんんん

お尻に何入れたの!?
痛いっ

ヤダヤダヤダ!!
抜いてっ!!

ぎゅん

ぽろ

ぽろ

明日からたっぷり使う穴だぞ
綺麗にしてやるんだ
細いホースくらいでキャンキャン
言うな

明日からはもっと太いもの
散々ぶち込まれるんだから
な

ん
びんびん

冷たいっ

やだあつ!
お水入ってくるっ!

ヒメのお尻に
お水入ってくるっ!

んんんん
んんんん

ゴッゴッ

んん

んん

んんん

ぽろぽろ

ぽろぽろ

んんんん

んんん



ケツ穴綺麗にして
やってるんだ

我慢してろ！

いやあっ
苦しい！こんなのだ！
お腹苦しいよ！
ださせてえっ！

かたかた
かたかた
しゅん
しゅん
しゅん

ゴゴ
ゴゴ

んん

んん

おっ

ぽた
ぽた

おっ

ズ
ズ
ズ

んん
んん
んん

そうそう
こっちもちゃんと
洗ってやらないとな

シャワー

ジュジュ

ジュジュ

ゴボゴボ

ジュジュ

ジュジュ

あ
あ
あ
あ
あ



入らないっ！
そんな所にお水
はいらないよおっ！！

うんうんうんうん
うんうんうんうん

うんうん
うんうん
うんうん

うんうん
うんうん

うんうん
うんうん
うんうん

たし
たし

うんうん
うんうん
うんうん



